

第 1 部セミナー 「みんなで考えよう！スマホやインターネットの利用法」

■日時：平成28年12月4日(日)、13:30～16:30 会場：奈良市ボランティアインフォメーションセンター

■基調講演：「奈良県は みんなでネットに 向きあおう」

(帝塚山大学経営学部教授 ナリス理事長 日置慎治氏)

【概要】

すべてのものには、光と影の面があります。便利なものには、どこかに危険性が潜んでいます。インターネットやスマホは便利ですが、多くの危険性が潜んでいることが分かってきました。また、実際に危険な体験をした子どもたちが少なくありません。

この状況に対して、子どもたちはもちろんのこと、保護者、教師、そして周りの大人がしっかりと向き合い、対応することが求められています。

奈良県では、「青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム」(<http://www.pref.nara.jp/6646.htm>)を中心として、奈良県全体でネット・スマホ問題に取り組んでいます。主として NPO が児童に対して講演を行っていましたが、大学生が小学校で自身の体験を踏まえた講習会をするなど、全国的に見ても先進的な取り組みが進行中です。

本講演では、奈良県の取り組みを「奈良県は みんなでネットに 向きあおう」という切り口でお伝えしたいと思います。

【日置慎治氏のプロフィール】

帝塚山大学において、コンピュータ、ネットワークを担当する。

NPO なら情報セキュリティ総合研究所(ナリス)では、奈良県を中心に年間約2万人を対象とした講習会を実施する。1995 年ゴードン・ベル賞受賞(IEEE コンピュータ協会)

■講演2：「デジタル社会を生きる子供の「心」「体」「将来」を守る！

～ ネットのトラブルや依存を防ぐためにできることを知ろう ～

(ネット教育アナリスト 安心ネットづくり促進協議会・普及啓発広報副委員長 尾花紀子氏)

【概要】

仕事に、生活に、学びに……私たちの日常になくてはならない存在となったインターネット。パソコンやケータイ&スマホだけでなく、タブレットや携帯型音楽プレイヤーでスマホ用アプリを楽しんだり、小型ゲーム機でゲーム仲間とコミュニケーションしたり、というような使い方をする子どもが多いため、いずれの機器でも問題が生じています。でも、ネットやデジタル機器はこれからの時代を生きていく上で不可欠な道具、子供たちから取り上げるのではなく、正しく賢く安全に使う力を育むことが望まれます。

「デジタルが苦手」「機器やサービスや技術の進化に追いつけない」と思っている方でも大丈夫、学校や家庭でできることはたくさんあります。スマホを持たせるタイミングの計り方を始め、一般的な「インターネット安全講座」ではなかなか語られないノウハウや予防策を、具体例と共にわかりやすくご紹介します

【尾花紀子氏のプロフィール】

インターネット教育の専門家として行政機関の委員や監査機関の理事等を歴任。教育・PTA 団体からの講演依頼も多く、全国で課題解決のためのアドバイスを行っている。また、さまざまな教育コンテンツの執筆・指導・監修を手がけるなど、青少年のインターネット環境作りに幅広く貢献している。

2013 年 2 月にネット公開した『アレンジ版／スマホ 18 の約束(ミニ解説付)』は、日本の家庭環境やネット事情を考慮した内容で、教職関係者・保護者に好評を博している。

[著書]岩波書店『子どもといっしょに安心インターネット』全三巻(共著)

学研プラス『サイバーセキュリティのひみつ』(IPA 専門委員として監修)等

内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」委員

総務省「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース」委員

文部科学省「青少年を取り巻く有害環境対策の推進」技術審査専門員 他

■講演3:「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン ～安心・安全なネット利用～」

(NPO 法人企業教育研究会 事務局長 市野敬介氏)

【概要】

ドラマ教材のDVD「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」を用いた、地域や学校でできる情報モラル啓発講座の体験や、スマートフォンのフィルタリング、機能制限の体験をしていただく講座を行います。

【市野敬介氏のプロフィール】

NPO 法人企業教育研究会 事務局長
安心ネットづくり促進協議会 普及啓発作業部会 副主査
長岡造形大学 非常勤講師

第2部セミナー 「IoT時代の情報セキュリティとは」

■日時: 平成28年12月9日(金)、13:30～16:30

会場: 奈良市ボランティアインフォメーションセンター

■講演1: 「マイナンバーとサイバーセキュリティ」

(内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室長代理(副政府CIO) 向井治紀氏)

【概要】

マイナンバー制度は、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤であり、平成28年1月より、社会保障・税・災害対策の3分野でマイナンバーの利用が始まった。平成29年7月より国や地方公共団体などを含めた情報連携やマイナポータルの本格運用が開始予定であり、これによって自治体の窓口における社会保障給付といった各種申請の添付書類の省略など、国民の負担軽減、利便性向上が実現する。個人情報への取扱いに対する懸念には、法令や条例による利用範囲の制限に加え、個人情報は一元管理せず、これまで通りそれぞれの行政機関で分散管理するなど、制度・システムの両面で個人情報保護措置を講じている。本講演では、マイナンバー制度のセキュリティに関する最新動向についてご説明する。

【向井治紀氏のプロフィール】

昭和56年に大蔵省入省後、財務省主計局主計官、理財局次長などを経て現職。
内閣官房内閣審議官(社会保障改革担当室担当)
兼内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室長代理(副政府CIO)
兼内閣府大臣官房番号制度担当室長

■講演2: 「サイバー攻撃に打ち勝つ実践力ある人材の育成の取り組み」

(富士通(株) 統合商品戦略本部セキュリティビジネス推進統括部ソリューション推進部長大久保 仁志氏)

【概要】

近年、サイバー攻撃が急増し、さらに巧妙かつ高度化している中で、これに対応するための情報セキュリティ人材の不足が叫ばれています。

サイバー攻撃等に対抗する高度人材の育成が組織にとって緊急かつ重要な課題となっています。本講演では、富士通のセキュリティに対する取り組みを実践型セキュリティ人材の育成を中心にご紹介いたします。

【大久保 仁志氏のプロフィール】

1989年富士通株式会社入社。システムエンジニアとして、都道府県防災指令システム、警察/消防系システムなどの社会インフラ系システムの設計・構築・運用に従事。

2005年より情報セキュリティ、事業継続(BCP)のビジネスを担当。お客様起点でICTの安心安全を実現する継続的な取り組みを実施中。

■講演3:「サイバー犯罪の現状と対策について」

(奈良県警察本部生活安全部生活環境課サイバー犯罪対策室 室長 佐竹伸治氏)

【概要】

サイバー犯罪は、「インターネット等の高度情報通信ネットワークを利用した犯罪やコンピュータ又は電磁的記録を対象とした犯罪など、情報通信技術を利用した犯罪」とされており、今日のインターネットにおける各種サービスやスマートフォンの急速な普及に伴い、検挙件数や相談件数も増加傾向であります。インターネットを利用する人にとっては、サイバー犯罪は身近な脅威の1つとなってきています。本講演では、サイバー犯罪の手口等の現状について説明し、インターネットを利用していく上で、被害に遭わないために注意しておきたい点や対策等について説明します。

【佐竹伸治氏のプロフィール】

奈良県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策室 室長 警視

【主催】: 特定非営利活動法人 電子自治体アドバイザークラブ (e-AAC)

【共催】: 第1部 NPO 法人 なら情報セキュリティ総合研究所(ナリス)
第2部 奈良県電子自治体推進協議会

【後援】: ・近畿総合通信局 ・近畿経済産業局 ・奈良県 ・奈良県教育委員会
・奈良県市長会 ・奈良県町村会 ・公益財団法人 奈良県地域産業振興センター
・奈良県PTA協議会 ・奈良県高等学校PTA協議会
・奈良県子ども会連合会 ・奈良市PTA連合会

【協賛団体】: ・西日本電信電話株式会社奈良支店、 ・富士通株式会社、
・シャープ株式会社 ・遊技業協同組合
・特定非営利活動法人 サイバー・キャンパス・コンソーシアム TIES(略称:NPO 法人 CCC-TIES)